

栄光の軌跡

秋季近隣中学生バドミントン大会（9月1日）

男子シングルス 第1位

男子ダブルス 第3位

多中祭へのご参加ありがとうございました

9月5日（水）の台風による臨時休校や、9月6日（木）に発生した北海道胆振東部地震による停電など、練習時間が十分に確保できない中でしたが、予定通り9月8日（土）に多中祭を実施できました。当日は多くの保護者の皆様と地域の方にご参加いただき、ありがとうございました。

今年のバザーは停電の被害により、一部販売ができない商品もあり、保護者の方には当日お弁当を作り持参していただきました。地域の皆様にも、当日の販売変更についてご理解をいただきありがとうございました。そのような中でしたが、PTA会員の皆様にはバザーのお手伝いをいただきました。収益金の3,140円は子ども達の教育活動に使わせていただきます。

また、当日は神楽愛好会の特別出演があり、「日向神代神楽」が披露されました。今年は さんが三番叟を披露されました。素晴らしい演技に観客の皆さんも見とれていました。ありがとうございました。

「日向神代神楽」は11月3日（土）の多寄町文化祭芸能発表会でも披露される予定です。



10月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月	朝会 認証式 常任委員会	16	火	職場体験1日目（2年）
2	火	上教研北部地区研究大会（臨休）	17	水	職場体験2日目（2年）
3	水	議案書検討 土別地区意見発表大会	18	木	校内研修
4	木	校内研修	19	金	交通安全街頭指導 巡回文庫
5	金	英語検定	22	月	常任委員会 土別地区中学生英語発表大会
6	土	北海道PTAブロック研究大会～7日（旭川）	23	火	教育相談 子ども議会
7	日	バドミントン新人大会（団体）	24	水	インターネット安全教室
8	月	体育の日	25	木	教育相談 小中音楽発表会
11	木	学力テスト総合B（3年）	26	金	校内研修
12	金	後期生徒総会	29	月	代議員会
15	月	朝会	30	火	職員会議

士別市立多寄中学校 学校通信

たよろま

校訓 自主協同

第6号

平成30年 9月28日発行

災害に備えるということ

校長 工藤朝博

多くの皆さんが第68回「多中祭」を参観し、生徒と一緒に盛上げてくださいました。五十嵐教育長職務代理者は、「意見発表」で講評もしてくださいました。ご参観とご協力をいただいた全ての皆さんに心からお礼を申し上げます。

9月5日に大型の台風21号が北海道に上陸し、士別市はすべての小中学校で臨時休校となりました。その翌日の3時8分頃に北海道胆振東部地震が発生し、全道が停電になりました。本校では2日後に「多中祭」を控え、リハーサルを行う予定でした。幸い士別市は震度3で、地震による直接的な被害はほとんどなく、私の家でもガスと水道は使えました。夜が明けのを待って、教頭先生に学校の被害状況を見てもらい、建物の安全と水道・トイレが使えることを確認しました。

校長会の会長・事務局長が市教委と対応を協議している頃、私は小学校の吉中校長と相談し「給食がなければ午前中、給食があれば普通どおりにやる」ことを確認していました。5時35分に市教委から「水道とトイレが機能していれば通常登校。給食は最低でもパンと牛乳は提供できる」との連絡が入り、私たちは打合せどおり通常登校することにしました。先生方も停電が続く中、いつもどおりに出勤し、朝の短時間で対応を協議し「マイクと照明が使えないのでリハーサルではなく、昨日できなかった全体での合わせ練習をする」ことにしました。昨日の朝、台風による臨時休校の連絡をしたときに、担当が「各自、家で個人練習するように」という指示をしていました。6日は一日中、合唱や演劇、トーンチャイム、学年の出し物などの練習をしました。7日はほとんどの地域の電気が復旧し、学校ではマイクと照明を使いリハーサルを行いました。

教頭先生をはじめ、先生方一人ひとりが自分の役割に責任をもち、全体の様子を見て主体的に判断してくれました。子どもは、親や教師の背中を見て育ちます。先生方の素早い判断と適切な行動を参考に、生徒自身も限られた時間の中で、自分が何をすればよいのかを主体的に考え、行動に移していました。実に見事な2日間だったと思います。日々の学習の成果は、このような非常時の行動でわかります。

2011年3月11日の東日本大震災の時に、「津波てんでんこ」という言葉が紹介されました。津波が来た時には、まず自分の命を守れということです。また、津波が来る前に、普段おとなしい犬が急に吠えだし、何度も2階に行こうとしたという話も聞きました。自分の命を守るためには、私たちの動物的な第六感も大切になるのかもしれない。

多中祭が終わった翌週の9月13日に、地震を想定した抜き打ちの避難訓練を実施しました。1日に札幌から転校してきたばかりの君も含め、真剣な様子で取り組んでいました。私は実際に立派だったと思いつつ、講評の中でひとつだけ生徒に問いかけをしました。「今、避難してくる途中、どのような光景をイメージして避難してきましたか？教室の様子は？廊下の天井は？壁は？階段は？」自分の命を守るためには、災害の状況を瞬時に判断して行動しなければなりません。災害に備えるということは、訓練をとおして基本を覚えるだけでなく、どのような状況であっても柔軟に対応できるように、常にイメージトレーニングしておくことが大切です。そのことを今回の多中祭の練習で実感しました。

災害に備えることは、子どもだけでなく大人にとっても大切なことです。みなさん防災に心がけ、いつまでも元気で子どもたちの姿を見守ってくださるようお願い申し上げます。



学校教育目標「豊かな心情をもち、根気強く、実行力に富む生徒の育成」

○思いやる広い心・徳育の気(徳育) ○たくましい身体・強靱の気(体育) ○確かな思考力・表現力・判断力・向上の気(知育) ○働くことをいとわぬ精神・忍耐の気(労育)

<めざす生徒像>

真心をもってやりぬく
た たくましい人(体育)
よ よく考える人(知育)
ろ ロマン豊かな人(徳育)(労育)

重点目標「規則正しい生活をし、先々を見とおしながら、よく考えて行動できる生徒の育成」

今年度の重点目標を具体的な教育活動に！！



第68回多中祭(9月8日)



オープニング(生徒会)



全校合唱「旅立ちの時」(指揮: 先生 伴奏: 先生)



トーンチャイム「花は咲く」



意見発表
さん
(2年)、
さん(3年)、土
別市意見発表
大会に出場し
ます。



学年出し物



演劇「もしも主役をやったなら」



避難訓練(北海道シェイクアウト)(9月13日)

北海道の各地で取り組まれている「シェイクアウト訓練」を今年も実施しました。地震が発生したら「①姿勢を低く!②頭と体を守り!③揺れが止まるまで動かない!」。このように地震発生時に自分の身を守る訓練を「シェイクアウト訓練」と呼びます。北海道では台風や地震による災害が発生しています。学校以外の場でも冷静に自分で判断し、行動できるように、真剣に取り組みました。



道徳講話(先生)(9月18日)

今月は 先生による道徳講話でした。先生は高校時代商業科に通っていましたが、ある日出会った1冊の本がきっかけになり、文学の世界に興味をもち、「自分でも本を書いてみたい」と、商業科から一転、国文科への進学を決意し、勉強に励んだそうです。「たくさんの出来事との出会いが今の自分をつくっています。いろいろなことに挑戦してほしい」とお話されました。



職業講話(3年生)(9月25日)

文部科学省職員の さんが実務研修で土別市に来ています。25日は多寄中学校で研修をしました。さんは初等中等教育局財務課に所属しており、学級編成や教職員定数等を担当しています。3年生にキャリア教育として、文部科学省職員の一週間の生活の様子や仕事のやりがい、文科省職員を目指したきっかけなどを話してもらいました。 私たちも普段中央省庁に勤めている方と触れることは無いので、貴重なお話を聞くことができました。

